

令和8年度 美術科年間指導計画

①. 教科経営の目標

学校研究課題『学びを深め、自らの生き方を主体的に考える生徒の育成』

- (1) 創造活動の喜びを味わい、より良いものを制作しようとする主体的な態度を養う。
- (2) 自分にしかない価値観を大切に、美術を愛好する心情を育てる。
- (3) 豊かに発想・構想し、造形的なよさや美しさを感じ取る能力を育てる。
- (4) 美しいものや優れたものに接して感動する、情操豊かな心を育てる。

②. 教科の実態

- (1) 興味関心が高く、制作に意欲的である。主題を明確に持っている生徒が多い。
- (2) 時間数を見通して計画性のある制作が出来ない生徒がいる。
- (3) アイディアを考える時点で、じっくり粘り強く試行錯誤することが難しい。
- (4) 美術室を整備し、いろいろなニーズに答えられるよう本や道具を用意している。

③. 教科としての評価観

- (1) 生徒の思いや願いを言葉や文章で表現する機会を多く設定し、互いのよさや違いを認め合う相互評価を取り入れ、自分の表現や鑑賞に自信が持てるような評価を行う。

④ その他

年間指導計画【第1学年】

月	題材名	時数	学習の目標	学習内容	評価基準			指導上の留意点
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	美術との出会い ようこそ美術の学びへ	1	○図画工作の学習を振り返り、美術の学習に関心を持つことが出来る。	○美術科で大切にしたい自分の考えや思いを伝えること、感じ取ることについて理解する。				○小学校での図画工作の学習を振り返り、中学美術の学習との関連性を考え、意欲的に取り組ませる。
5	見つめて感じて描いて (スケッチ) ★理科と関連	8	○お気に入りの風景の色彩や描画材料の特徴を生かし、イメージをとらえて制作することが出来る。	○心ひかれた風景のよさや美しさを自分なりの表現で楽しく描く。	○構図枠を利用して新しい発見をし、お気に入りの風景や場所を探してみる。	○気に入った風景を作品にするため、一転透視図法などを使って構想を練る。	○構想が決まったら、構図を大切に、透明水彩の良さを生かして描く。	○透視図法を使った風景画や透明水彩で描かれた風景画を鑑賞し、遠近法の表現に気づかせる。
6	文字が生み出すイメージ 印象に残るシンボルマーク ★国語と関連	10	○考えやイメージを伝え合うことの楽しさを知り、相手の気持ちを考えてデザインする。文字の強い伝達力と造形美の融合を工夫する。	○自分のイメージやデザインに合った配色計画を立て、着色する。友達の作品を鑑賞し、自分と違う表現方法を理解し、よさに気づく。	○身近な物の形や色、文字などのデザインについて興味や関心を持っている。	○身近な物の観察から発想し、効果的なデザインを構想している。	○形や色、文字のデザインについて理解し、それらを工夫して表現に生かしている。	○身近な物の形や色に注目してよさや美しさ、楽しさを味わい、デザインすることの意味や効果について考えるとともに、相手にわかりやすく伝えることを考えさせる。
7	つなげて広がる模様の世界 ★数学との関連	6	○身近な自然物などの特徴やイメージ、使う場面などをもとに、形や色彩の構成の工夫を考え、デザインする。	○つながる模様の仕組みを理解し、デザインする。 ○色の持つイメージや並べ方を工夫し、デザインする。	○自然物や人工物などの形の色彩の特徴に着目し、美しさなどをとらえ、材料や用具の扱い方を工夫して見通しを持って表そうとしている。	○身近な自然物などの特徴やイメージ、使う場面などをもとに、形や色彩の構成の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。	○自然物の特徴を生かして模様をデザインすることに感心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	○装飾デザインとしての模様に興味を持ち、その成り立ちについて調べたことを導入として、自分なりの構想や模様をデザインする喜びを感じさせる。
10	暮らしを彩る土の造形 ～使う、飾る、遊ぶ～ ★家庭科との関連	10	○陶土の感触を楽しみながら焼き物の持つ造形的なよさを味わい、成形から小生までの製作工程を理解し、制作する。	○工芸品としての陶芸作品を鑑賞し、美しさや表現方法などについて鑑賞する。 ○陶芸の製作過程を理解し、用と美の調和を考え、作品を制作する。	○焼き物の材料、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、温かさなどを全体のイメージでとらえることを理解している。	○焼き物の特性や美しさなどを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどの調和を考え、表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく焼き物の良さや使いやすさなどを考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しをもって表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	○土焼きなどの自然素材の良さを味わいながら日常生活に活用できる工芸作品を制作鑑賞することにより、『用の美』について理解させる。
12	材料に命を吹き込む ～抽象画で心象風景を描いてみよう～	10	○自然物を発想の源として作られたものや自然の造形を生かした建築の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中の美術の働きを理解する。 ○感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の宅性を生かして創造的に絵で表す。	○自然物の形からイメージを膨らませ、主題を生み出す。 ○主題を基に形や色彩、創造的な構成を工夫するなどして表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして表現方法を追求しながら絵や立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞しあい、主題をどう現したのかや、表現の意図や工夫などについて話し合う。	○形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えようとしている。	○感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、楽しみながら自分の表現方法を工夫し、創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	○偶然にできた形や色の面白さを生かしたり、さまざまな描画の技法を試したりするなど、工夫しながら発想や構想を広げて表現できるよう支援する。